



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第35回 通算1381回 平成27年3月24日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/10 修正出席率
		59名	26名	49.1%	92%

ゲスト: 市内5高校の高校生25名、教諭6名 ビジター: (なし)

★会長あいさつ

滝下 勲会長



こんにちは。先週の日曜日に、東三河分区IMが開催されました。当クラブからは22名の方が参加をされました。詳しいことは、来週の例会で報告があります。

今日は、昨年7月に引き続き、市内の高校生の皆さんと先生に来て頂いております。この活動は今年で9年目で、毎年毎年、各学校が素晴らしい活動をされています。豊川宝飯RCとしては、少しでも皆さんの活動の力になればと思っております。地味な活動だとは思いますが、積み重ねることで、将来につながっていくと思っております。これからも続けていって頂きたいと思っております。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更のお知らせ
台湾台中松竹RCの会報の回覧

★青少年奉仕委員会担当例会

◎委員長あいさつ

井指和昭委員長



こんにちは。本日の例会に参加して頂きありがとうございます。高校生の皆さんに各学校のボ

ランティア活動の報告をして頂きます。各学校それぞれ活動している内容は様々です。他の学校の活動を聞いて、自分の学校に戻られて、どのような活動がこれから出来るのかなどを感じて頂き、これからの活動に繋げて頂ければ非常に有難いと思っております。我々も高校生の皆さんの発表を聞いて、これからの活動に活かしていきたいと思っております。

「ボラン・コラボ・穂の国7」という名称は、参加高校の6高校の6とボランティアされる側の1を足して「ボラン・コラボ・穂の国7」という名称になりました。平成19年4月にスタートをしました。目的として、①各参加校の相互理解と交流の輪を広げ、志を共にする生徒たちの友情を培う。②ボランティア活動の情報交換を通じ、各学校の活動を理解し、お互いに切磋琢磨する機会とする。③各校のそれぞれの活動のうち、共通プログラムについて効果的かつ有機的な活動にするために、この協議会にて協議し、コンセンサスが得られれば共に活動をするということであり、各学校の垣根を越えて活動をするのは難しいかもしれませんが、近い将来に活動が出来ることを期待しています。

◎小坂井高校の発表



小坂井高校生徒会による平成26年度2学期以降のボランティア活動について報告します。2学期には、2つの活動があり

ました。1つ目は、11月に行われた赤い羽根共同募金運動です。私たち生徒会役員会が校舎前に立ち、登校する生徒に募金協力を呼びかけました。更に昼休みの放送や各クラスにおいても文化委員が呼び掛けるなどをした結果、多くの生徒や先生方が個人やクラス単位で協力をしてくださいました。学校祭のバザーの利益をまとめて寄付してくれたクラスもあり、今年度は4万8566円が集まりました。集まった募金は、愛知県共同募金会に届けました。皆さんのちょっとした気持ちが、積み積み重なってできた活動でした。

2学期のもう一つの活動は、クリーン大作戦です。これは有志を募って学校周辺や通学路のゴミ拾いを一斉に行う行事です。2学期期末試験最終日の午後、開放感にひたっていた一時でもあるにも関わらず、全校生の6割と先生方の総勢600名が自主的に参加をしてくださいました。地域を徹底的に綺麗にと全員が心を一つにして真剣に取り組み、1時間後には白とピンクの大きなゴミ袋が出来ていました。大変な作業でしたが、みんなの達成感に満ちた笑顔がとても印象的でした。

3学期には、桃里保育園訪問がありました。地元の保育園を訪ねて、園児たちと交流するこの活動が本年度最後の行事です。今年は参加希望が多く、直ぐに募集定員が集まったため、生徒会役員は残念ながら参加することは出来ませんでした。参加した人の話によると、あいにくの雨で園児たちの大好きな外遊びは出来なかったものの、キラキラした目で一生懸命に話しかけてくる園児たちに囲まれると、自分たちも自然に笑顔になれて、お絵かきや本読みなどして、本当に楽しく過ごすことが出来たそうです。そして、小さな子ども達の成長を地域の多くの人々が、色々な形で見守っていくことが大切だと感じたそうです。

以上が本年度の活動報告ですが、これからも一人でも多くの人にボランティア活動の素晴らしさを知ってもらい、本校のボランティア活動が更に充実したものになるように努力して行きたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



◎豊川高校の発表



豊川高校生徒会執行部の活動報告をします。

広島土砂災害義援金募金について報告します。豊川高校の学園祭に、

広島県の崇徳高校のインターアクト部が来校し、広島県でおきた土砂災害への支援を訴えられました。その話を聞いて生徒会では募金に取り組むことにしました。募金日程は10月10日～15日です。この5日間で12万4130円を集めることが出来ました。また、パワーリフティング部が学園祭当日に義援金の呼びかけを行い、合計15万円を崇徳高校に送り、崇徳高校から広島県災害対策課に送られました。

1億円募金について報告します。豊川高校では1億円募金活動を行っています。これは、公私格差や家庭の経済的理由で学校に通いたくても通えなかったり、途中で学校を辞めなくてはならない中学生や高校生を救うための募金活動です。この募金活動で集められたお金は、奨学金として年12万円を無利子で貸し出しています。今年度もこの募金活動を数回行ってきました。9月6日に豊川稲荷門前で、豊川高校生徒と豊橋中央高校生徒で2万4016円を集めることが出来ました。9月27日28日には、豊川高校学園祭にて、各クラス代議員と学園祭執行部で8万2278円集めることが出来ました。11月30日には豊川稲荷門前で、生徒会執行部と父母の方に協力を頂いて2万4269円集めました。1月11日には、豊川高校門前で、豊川高校生徒と高校生フェスティバルの生徒、豊橋中央高校の生徒で10万4826円集めました。これからも1億円募金活動を積極的に行い、一人でも多くの生徒が救えるにしたいと思っております。

BIGフェス群舞について報告します。群舞というのは、教育に公平を、高校生は無力ではない、今の社会を良くしていきたいという事を中高生1,000人が姿形で表すのが群舞です。BIGフェスというのは、大村知事、県議会議員、市議会議員の方々に私学の中高生が頑張っている姿、自分たちの想いを伝えるフェスティバルです。去年のBIGフ

ェスも目標の1,000人に達して踊ることが出来ました。

BIGフェスパレードについて報告します。名古屋市栄の街を練り歩き、栄の人たちに私学の現状と高校生は無力でないことを伝えるためにパレードを行っています。参加者は、全体で数千人、学校からの参加者は和太鼓部、チアリーディング部などです。

愛の年賀状ボランティアについて報告します。今回は様々なクラスや部活動から145名の参加があり、東三河の福祉施設の93名の方に年賀状を送ることが出来ました。沢山の人が参加してくれたのは、とても喜ばしい事でした。これからも生徒会はボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

東北スタディーツアーの報告をします。愛知県高校生フェスティバルが主催しているツアーです。被災地の厳しい中で前に進もうとしている人たちから話を聞いたり、メディアに報道されない部分や、今の東北の現状をより深く学びいろいろな事に気づくことが出来ます。豊川高校からは、福島コース4名、南三陸コース4名が参加しました。福島コースでは、原発、放射能、津波の被害を学び、計画的避難区域や帰宅困難区域もバスで足を踏み入れました。南三陸コースは、現地のナビゲーターの人と一緒に津波で甚大な被害を受けた漁港に行きました。被害を受けた防災庁舎を見に行き、泊浜ではチャレンジャーと呼ばれる人に話を聞き、そのあと実際に漁船に乗りホタテを収穫して食べる体験をして来ました。夜には、復興についてのグループトークをして、まとまった内容をみんなの前で発表をしました。青森、岩手、宮城の沿岸を通る国道45号線が、割と整備されていました。地元の方の話を聞くと、整備によって慣れ親しんだ町がかなり変わってしまい、知らない町になってしまうという声もあるそうです。100%震災前に戻るのではないのだと知りました。ご清聴ありがとうございました。



◎豊川工業高校の発表



豊川工業高校ボランティア部の活動報告を始めます。

24時間テレビの募金活動を報告します。プリオ周辺で募金を呼び掛け

ました。沢山の人が募金に協力してくれました。

防災訓練では、災害時のボランティアの申し込みの手続きやテントのはり方、炊き出しなどを教えてもらいました。沢山の人が参加していて、何かあってもみんなで助け合えると思えました。

子どもモノづくり教室は、月に1度、豊川少年少女発明クラブが開いている教室で、そのお手伝いをしています。3月には1年間皆勤だった子への賞状を作りました。賞品は学校の機械で作ったコマや置物、センサーを使ったおもちゃなど工業高校ならではの物で、子ども達には大変喜んでもらっています。

ふれあいフェスティバルにも参加し、消しゴムハンコとどんぐりコマ作りの教室を開きました。消しゴムハンコ作りでは、みんな一生懸命作っていて、完成すると凄く笑顔になりました。どんぐりコマは、上手く作るのが難しそうでしたが、完成した物で楽しそうに遊んでいました。沢山の人が喜んでもらって嬉しかったです。

キャンドルナイトやマリンアート作りに協力してもらうために6校の小学校を訪問しました。そのうち八南小学校ではマリンアート作りをしました。マリンアートは、貝殻やガラスなどを拾ったものを使ったオブジェで、今年は魚の形をしたものを作りました。みんな楽しそうに作業して、完成品は様々な形をしており、子どもの発想力は豊かだなと思いました。

マリンアートキャンドルナイトは、ボランティア部が主催しており、約2千本のキャンドルを使って思いを込めた一文字を表します。今年度は「迎」という文字を描きました。今年は風が強くなくキャンドルが綺麗にうつりました。マリンアートを作った八南小学校だけでなく、沢山の人が見に来てくれました。見に来ていた人に「綺麗だね」と言ってもらえて、とても嬉しく、凄く達成感を感じまし

た。来年度もマリンアートキャンドルナイトを行う予定です。

その他には、豊川青少年ボランティア体験学習、本校文化祭子どもモノづくり教室、ふるさと満喫まつり2014、未来カフェ穂の国2015、たけのこ祭り、小学生ボランティア「ボラたま隊」の進行係など様々なことをしました。ご清聴ありがとうございました。

◎宝陵高校の発表



ボランティア活動の報告を始めます。

本年度ボランティア参加施設は、9団体29施設に参加をしました。福祉施設では、夏祭りや秋祭りでは、入所者の方の

車椅子移動や模擬店を手伝いました。参加した施設は、喜寿苑、穂の国荘、ケアハウス美園、しんさかえケアセンターそよ風をはじめとする多くの施設です。その他にも、豊橋善意銀行などのボランティアは夏休み期間を利用し、多くの生徒が参加しました。子ども発達センターや通園施設では、子ども達のお世話や清掃などの活動をしました。豊川リレーマラソンには、給水係や会場係などに参加をしました。豊橋市の歩行者天国では、イベントスタッフとして活動をしました。プロバスケットチーム浜松・東三河フェニックスのホームゲームで会場設営や受付をサポートしました。12月までに、延べ240名の生徒がボランティア活動に参加しています。

夏に紹介をしました本校のプロモーション活動とその後を報告します。ボランティア適正マップを教室掲示。参加した生徒の感想や意見をボランティア掲示板で紹介。本校は毎年12月に、豊川市文化会館で体験発表会での活動報告を行います。

本校でも意外と知られていないのが、ボランティア功労者賞です。プロモ活動で告知する機会が増えたことで、受賞者が年々増えています。本年度は3年生10名が受賞しました。

ボランティア活動に参加した生徒からアンケートを取りました。集まった意見から一部を紹介します。「初めは緊張や不安があっけ

ど、まずは1回参加することが大切です。」「関わる上で難しいこともあるけれど、学ぶこともたくさんありました。」「施設の方や地域の方とたくさん話せてとても楽しかったです。」「不安な事もありましたが、利用者の方にありがとうと言われ、とても嬉しかったです。」「地域の絆を感じ、自分も一員として活動できたことが嬉しく、また参加したいと思いました。」「地域の方とのふれあいを通して、自分も成長できたと思います。」「それぞれ参加した生徒は、ボランティア活動を通して責任感と信頼関係の中から、大きく成長しています。生徒から集まった意見は、2棟1階昇降口にあるボランティア掲示板に掲示しました。

プロモ活動は継続が大切です。まだまだこれという成果は無いものの、少しでも興味を持ち、多くの生徒が参加する活動となるように頑張ります。そして、私たちの存在が少しでも誰かの助けになるのなら、喜んで駆けつけたいと思っています。

以上で平成26年度のボランティア活動の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎国府高校の発表



平成26年度、国府高校で行われたボランティア活動について報告します。

5月に豊川市

ゆうあいの里ふれあいセンターで行いました。天候はもちろん、何よりも参加してくれる人数が心配でしたが、写真部をはじめとする多くの参加者が集まりました。作業内容は、施設内の除草、花の植替えを行いました。集中して楽しく作業ができ、作業後はとても達成感がありました。また施設の利用者の方々に「頑張ってるね」「えらいね」と声を掛けて頂くこともあり、とても嬉しく感じました。

6月には豊川リレーマラソンのスタッフとして活動に参加をしました。私たちは選手の方々への水分提供や交通整備、大会終了後はゴミ拾いと片付けのお手伝いを行いました。当日は天候に恵まれ、絶好の大会日和となりました。リレーマラソンには、とても多くの人が参加しており、ボランティアを通して活

気に満ち溢れる豊川市を知る事ができ、とても良かったです。

夏休みの8月21日から24日に、豊橋東ロータリークラブが主催する「出愛、ふれ愛、感じ愛」東北復興ボランティアがありました。この活動に本校から8名が参加をしました。私たちはバスで12時間掛けて到着した宮城県気仙沼市で、津波の被害が大きかった海岸の清掃や仮設住宅訪問、地域の方との交流会を行いました。実際に自分の目で被災地を見学し、現地の方々から話を聞くことで、東北大震災でおこった津波の恐ろしさ、当時の生活の苦しさがよく分かりました。長い時間が経過した今も手つかずの場所があり、復興にはまだ時間が掛かるように感じましたが、このような状況の中、明るく元気に頑張っている方々を見て、自分も困難に負けず頑張る行こうと言う大きなパワーをもらい、とても良い経験になりました。

10月には、ふるさと満喫まつりのスタッフをとして活動に参加をしました。私たちは、各担当に分かれイベントのお手伝いをしました。私たちが参加をした2日目は、朝から雲行きが怪しく、午後からあいにくの雨となりました。しかし、午前中にはたくさん子ども達が楽しそうに遊ぶ姿を見る事ができ、思わず顔がほころぶ有意義な時間になりました。

11月には赤い羽根共同募金を行いました。今年度も多くの方々に協力を頂き、6万円を超える募金が集まりました。この募金活動を通じて、地域福祉活動に目を向けてもらいたいと考え、毎年この活動を行っています。

12月の期末考査最終日には、学校周辺美化活動を行いました。いつもお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて、地下道や通学路、駅や踏切周辺などのゴミ拾いや草取りを行いました。この活動でボランティアに関心を持つ生徒が増えていき、より良い環境づくりが出来たらいいなと思います。

この他にも、部活動や有志による地域清掃、福祉施設訪問なども活発に行われています。ボランティア活動は、地域に貢献することが出来るのはもちろん、何よりも地域の方々と交流が出来るととても良い機会だと思います。また、自ら動くことにより、自分を成長させることが出来ると思います。私はボランティア活動を通じて、普段なにげなく過ごしている毎日が、多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。支えられる立場では

なく、支えていける立場になれるように、より多くの事を学び経験し、社会に貢献できるような大人へと成長していきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

★交流会

例会終了後に交流会が行われました。一つのテーマをもとにテーブルディスカッションをしました。今年のテーマは「将来へ向けてこれからのボランティア活動とは」です。



交流会のまとめ

- 各学校が色々な活動をしているのでテーマが難しかった
- 人と関わるためコミュニケーション能力が高くなり将来の進路に役立つ
- 地域のボランティアに関わると災害が起きたことを考える機会になる
- いくつも経験することで経験値が増えて、より多くの事ができるようになる
- より多くの人に参加してもらえるようにイベント的にしたら良いかもしれない
- 高校生できるもっと身近なボランティアが出来たら良い
- 高校が合同で出来る活動があれば、色々な活動ができると思う
- 気軽にボランティアが出来る学校になると良いと思う

★ニコニコボックス

井指和昭会員 本日の例会を担当します
夏目雅康会員 誕生日を祝って頂き

会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員